

(財) 地震予知総合研究振興会  
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第5回)

概要報告

1. 日時 平成24年3月5日(月) 13:30~17:00
2. 出席者
- |    |                |      |       |
|----|----------------|------|-------|
| 主査 | 東北大学           | 名誉教授 | 長谷川 昭 |
| 委員 | 東京大学           | 名誉教授 | 阿部 勝征 |
|    | 東京大学地震研究所      | 教授   | 岩崎 貴哉 |
|    | 長岡技術科学大学       | 教授   | 大塚 悟  |
|    | 東北大学           | 准教授  | 岡田 知己 |
|    | 防災科学技術研究所      |      | 岡田 義光 |
|    | 東京大学地震研究所      | 教授   | 小原 一成 |
|    | 東京大学           | 名誉教授 | 金沢 敏彦 |
|    | 日本大学総合科学研究所    | 教授   | 工藤 一嘉 |
|    | 東京大学地震研究所      | 准教授  | 酒井 慎一 |
|    | 名古屋大学          | 教授   | 鷺谷 威  |
|    | 防災科学技術研究所      |      | 関口 渉次 |
|    | 東京大学地震研究所      | 教授   | 平田 直  |
|    | 株式会社ホームサイスマメータ |      | 堀内 茂木 |
|    | 顧問             | 東北大学 | 名誉教授  |
- (財) 地震予知総合研究振興会会長 高木 章雄
- 事務局 (財) 地震予知総合研究振興会

(敬称略)

3. 議第

- (1) ひずみ集中帯における海底地震観測
- (2) 平成23年度の活動報告

#### 4. 委員会の状況

上越沖から下越沖にかけて海域で実施された海底地震観測の内容について紹介があったのち、平成23年度の活動報告として①地震活動状況等について、②自動処理システムのチューニング、③GPS観測結果について、④今後の研究の展開及び検討例、⑤東北地方太平洋沖地震長岡平野周辺の地震動の空間分布〔その2〕について説明がなされた。

##### (1) ひずみ集中帯における海底地震観測

上越沖から下越沖にかけての海域で実施された「中越沖地震波構造探査」、「上越沖長期海底地震観測」及び「栗島南東海域海底ケーブル地震観測」について紹介が行われた。委員会では、その調査結果の解釈に関する意見交換が行われた。

##### (2) 平成23年度の活動報告

平成23年度の活動報告が行われた。

- ① 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、気象庁が検知する震源のマグニチュードの下限を2010年12月から大きくしたことの影響などについて意見交換が行われた。
- ② 自動処理システムに関して、精度向上に向けた検討状況について説明が行われた。委員会では、処理内容に関する意見交換が行われ、精度向上のためには引き続きデータの蓄積が重要であることが確認された。
- ③ GPS観測結果については、東北地方太平洋沖地震の地殻変動は、東日本全域に顕著な東西方向の伸張変化をもたらしており、本検討のGPS観測網においても、地震時には東西方向に数十cmの伸びが生じ、地震後も伸張変形が継続していることが説明された。
- ④ 今後の研究の展開について、検討例を交えて説明が行われた。委員会では、地震発生層の推定の重要性、過去の観測記録の再処理を含め多くのデータを用いて解析を行うことを期待する意見があった。
- ⑤ 東北地方太平洋沖地震時のAN-netでの観測記録について、説明が行われた。

以 上